

令和5年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

所管課	ぎふ魅力づくり推進部 市民スポーツ課		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☒ 使用料	利用料金	料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	6館及び2プール一括 174,888,000円(当初)、177,406,000(補填後)、175,211,741(精算後)		
施設の設置目的	スポーツを振興し、市民の心身の健全な発達を図るため		
施設名	(1)岐阜市民総合体育館	所在地	岐阜市九重町4-24
施設概要	開設年月 昭和45年10月 競技場(40m×27m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球20台 卓球場、剣道場、柔道場、相撲場、格技室、トレーニングルーム、第2トレーニングルーム、弓道場、射撃場		
施設名	(2)岐阜市岐陽体育館	所在地	岐阜市上川手735-2
施設概要	開設年月 平成12年4月 競技場(31.5m×28m) バスケットボール1面(練習2面)、バレーボール2面、バドミントン6面		
施設名	(3)岐阜市南部スポーツセンター	所在地	岐阜市南鶉5-86
施設概要	開設年月 昭和54年5月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス2面、卓球16台 柔道場、剣道場、トレーニングルーム、グラウンド・ゴルフ場		
施設名	(4)岐阜市東部体育館	所在地	岐阜市芥見4-68
施設概要	開設年月 昭和59年6月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス3面、卓球16台 体育室		
施設名	(5)岐阜市西部体育館	所在地	岐阜市南鏡島2-8-40
施設概要	開設年月 昭和60年6月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス2面 卓球場、柔道場、剣道場、トレーニングルーム		
施設名	(6)岐阜市もえぎの里多目的体育館	所在地	岐阜市柳津町下佐波西1-41
施設概要	開設年月 平成28年7月 競技場兼集会場(36m×24m)・ステージ(204.07㎡) もえぎの里3階 アリーナ、トレーニングルーム		
施設名	(7)岐阜市南部市民プール	所在地	岐阜市南鶉4-120
施設概要	開設年月 昭和55年7月 一般プール(25m×20m・10コース) ・ 幼児プール(414㎡)		
施設名	(8)岐阜市本荘市民プール	所在地	岐阜市寿町2-13
施設概要	開設年月 昭和55年7月 一般プール(25m×14m・6コース) ・ 幼児プール(70.88㎡)		

●利用状況

(1) 岐阜市民総合体育館		R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期	R3 下半期
利用者数(単位:人)		42,067	46,949	42,890	40,674	6,550
各室稼働状況(%)	競技場	81.4	87.9	86.7	84.6	34.5
	剣道場	32.3	27.8	33.5	30.4	15.3
	柔道場	26.4	25.4	24.7	20.1	8.7
	格技場	29.0	28.6	26.4	23.3	9.5
(2) 岐阜市岐陽体育館		R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期	R3 下半期
利用者数(単位:人)		15,251	15,201	14,541	13,770	14,302
各室稼働状況(%)	競技場	92.7	89.6	94.7	89.2	71.8
(3) 岐阜市南部スポーツセンター		R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期	R3 下半期
利用者数(単位:人)		27,823	30,283	26,713	28,835	22,252
各室稼働状況(%)	競技場	93.4	88.3	83.0	94.3	77.1
	剣道場	49.9	58.6	47.1	52.3	43.2
	柔道場	24.4	52.2	22.8	27.4	23.1
	グラウンド・ゴルフ場(人)	32	36	96	78	132
(4) 岐阜市東部体育館		R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期	R3 下半期
利用者数(単位:人)		20,706	22,002	19,781	19,551	15,626
各室稼働状況(%)	競技場	91.7	90.7	92.9	88.1	70.5
	剣道場	46.2	39.2	39.4	36.9	36.1
(5) 岐阜市西部体育館		R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期	R3 下半期
利用者数(単位:人)		35,497	36,420	32,134	34,027	27,905
各室稼働状況(%)	競技場	96.6	96.1	87.0	94.5	83.5
	剣道場	33.7	26.9	33.5	32.1	28.3
	柔道場	20.1	26.4	23.4	20.6	16.6
(6) 岐阜市もえぎの里多目的体育館		R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期	R3 下半期
利用者数(単位:人)		29,636	30,740	26,769	26,178	23,638
各室稼働状況(%)	競技場	78.8	82.4	83.4	85.8	67.3
	アリーナ	92.1	87.7	85.6	84.1	69.0
(7) 岐阜市南部市民プール		R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期	R3 下半期
利用者数(単位:人)			14,287		11,220	
各室稼働状況(%)						
(8) 岐阜市本荘市民プール		R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期	R3 下半期
利用者数(単位:人)			4,940		3,543	
各室稼働状況(%)						
		R5 下半期	R5 上半期	R4 下半期	R4 上半期	R3 下半期
利用者数合計(単位:人)		170,980	200,822	162,828	177,798	110,273

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聞くためアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守、適切な運用に努めている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページやSNS、広報誌等の媒体を活用した広報活動を実施している。 ④アンケートボックスを設置し、利用者からの意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。なお、各館長が共通認識を持てるよう「館長会」を行い、各館統一見解により業務にあたっている。
指定事業・自主事業	【指定事業の実施】 ①体育館スポーツ教室 ②体育館デー事業 【自主事業の実施】 【スポーツ事業助成の実施】	【指定事業】 ①第2回体育館スポーツ教室(9月～12月) 45種目 66講座 定員2,217人 申込者数1,247人 ②体育館デー(2月18日) 地域のスポーツ推進委員会を中心に、スポーツ教室講師、各種団体や中学生・大学生ボランティアスタッフらの協力を得て、体育館デーを開催した。 来場者数993名(前年度925名) 対前年度107% 【自主事業】 ・FIAT CUP(12月3日) 参加者数:336名 ・バレーボール交流会(12月13日) 参加者数69名 ・講師研修会(1月28日) 参加者数:11名 ・図書返却ポストの設置(常設) 【スポーツ事業助成】 ・令和5年度下期(10月～3月)実施分 助成件数1件 ・令和6年度上期(4月～9月)実施分 申請0件
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③施設・設備点検業務 ④消防用設備保守点検 ⑤電気工作物保安管理業務 ⑥建築設備定期点検	①日常清掃、定期清掃を適切に実施している。なお、職員によるドアノブ等の消毒を定期的に実施し、施設の衛生管理に努めている。 ②警備業務(機械警備)は適切に実施している。 ③施設・設備点検業務は適切に実施している。 ④消防用設備保守点検は適切に実施している。 ⑤電気工作物保安管理業務は適切に実施している。 ⑥建築設備定期点検業務は適切に実施している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	上級体育施設管理士のノウハウ及び職員による施設内外の目視巡回点検等から修繕箇所を把握し、適切な修繕を行った。 ・修繕の実施件数 5件 140,800円 ・主な修繕 ・駐車場ポール塗装修繕55,000円(南部SC) ・トレーニング機器ワイヤー交換修繕33,000円(総体) ・ロッカー固定金具取付修繕27,500円(総体)
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①条例等を遵守し、適切に対応している。 ②非常時に迅速に対応できるよう努めている。 ③各種研修を実施し、関係法令を遵守した運営を行っている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<施設利用者> ・施設利用者にアンケートを配布し、計画的に実施している。 <来館者：常設アンケート> ・施設来館者から幅広く意見等を収集できるよう、館内にアンケートボックスを設置している。
利用者アンケートの実施結果	①利用者カード(団体利用)の「大変満足」・「満足」の割合 【回収枚数】 7,045枚 楽しく活動できましたか 93.6% 職員の対応はいかがでしたか 92.3% 設備環境はいかがでしたか 92.5% ②第2回スポーツ教室受講者アンケートの「大変満足」・「満足」の割合 【回収枚数】 911枚 満足度 91.1% ◎期待すること 基本を教えて欲しい 48.3% 楽しく教えて欲しい 44.5% その他 7.2% ◎修了後の活動について 自主トレに参加 23.8% 受講生でサークル活動 32.5% それ以外でクラブ活動 19.0% 活動していない 24.7% ③第2回利用満足度UP！アンケートの「大変満足」・「満足」の割合 【回収枚数】 438枚 実施期間：3月6日(水)～3月13日(水) 利用満足度 84.2% 施設は使いやすかったですか 81.9% 附属設備や備品は使いやすかったですか 74.9% 施設の美観は保たれていますか 79.2% 職員は丁寧に対応しましたか 84.9%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<①利用者カードでいただいた意見> ・バドミントン用のストッパーが滑って止まりにくいです。(総体) ⇒すぐに職員が点検をして備品を取り替えました。 ・卓球ネットが摩耗していました。 ⇒すぐに職員がネットをして不具合箇所を補修しました。(もえぎ) ・前の団体が時間になっても退出しなかった。(岐陽) ⇒団体の代表者に時間を守ってもらうよう声掛けすると共に、競技場入口に表示をしました。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・条例等に基づいた管理運営が適正に行われているか。また、そのためのモニタリングは実施されているか。	S	S	S
		個人情報の保護等	・個人情報の保護についての管理対策は適切に実施されているか。	A	A	A
		広報の方策	・平等利用のための適切な広報活動ができているか。	A	A	A
		情報公開	・市の情報公開制度に基づき適切に実施されているか。	A	A	A
		区分評価				A
効果性	対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮されるものであること	事業計画の履行状況	・実施計画どおりに事業が実施されたか。また、計画どおりの成果があったか。	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか。	A	A	A
		指定事業・自主事業(・共催事業)の内容	・施設の設置目的にあった事業となっているか。成果があったか。指定管理者の有する人材・ネットワーク・経験を活かすことができたか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制	・利用者ニーズ等を把握するために、アンケート調査等を実施しているか。また、寄せられた意見に対しては、適切に対応しているか。運営に反映しているか。	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・積極的な広告宣伝の実施により、利用者の拡大を図っているか。	S	S	S
		区分評価				A

効率性	管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の縮減が図られているか。	A	A	A
		予算執行の適正	・適正に執行しているか。また、不要な予算の執行をしていないか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性	・過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・各分野での専門知識、経歴や資格を有するスタッフを配置しているか。	A	A	A
		スタッフの管理、監督体制・人材育成の方策	・職員の管理は適切に行われているか。また、人材の育成体制は整備され、適切に実施されているか。	A	A	A
		緊急時の対応	・事故、災害等緊急時の対策、対応は適切か。	A	A	A
		グループ応募(コンソーシアム)の場合、グループの安定性。単体の場合、その組織体制の安定性。	・コンソーシアムの構成団体全体の経営基盤は安定しており、リスクに対応する十分な体制が整備されているとともに十分な対応がとられているか。また、コンソーシアム内の連携が取られているか。			
		施設の管理	・施設の保守、点検等適切に実施しているか。	A	A	A
		区分評価				A
		区分評価				A
貢献性	岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・業務の再委託先は、原則、地元業者の中から採用しているか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか。	S	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

	【公平性・透明性】 ・体育施設の平等利用を確保するため、屋内及び屋外の施設利用にかかる年間調整作業を実施した。 ・屋内施設については、増加傾向にある利用調整希望団体の規模や種目に応じて、一般利用団体の活動に支障が出ないように注意を払い調整を行った。長良川以北地域指定管理者と連携し、81団体891件の利用調整を行った。 ・屋外施設については有料施設13施設・無料施設が19施設あり、中学校部活動の地域移行による利用希望が増えている中、一般利用向けに土日祝日が埋まらないよう配慮をしながら、79団体3,097件の年間調整を行った。 ・調整に当たり、地元の活動や各種団体行事等の幅広い要望も取り入れ、特に屋外施設においては、様々な種目の特性があることから、長年の実績やノウハウをいかし、経験と専門性を持った職員が中心となって、利用団体と綿密なコミュニケーションとりながら調整することを心掛けた。 ・全ての団体を集めての全体会議を実施していない中で、主要な団体を集めて意見を聞く会を開催して意見交流を図りながら、事前に各団体からヒアリングも行なった上で最終調整に当たるなど、きめ細かな配慮をすることで、公平性・平等性の確保に努めた。 ■平等利用を確保するための体制、モニタリング ・利用者アンケート及び常設アンケートに加えて、体育館利用者から幅広い意見を聞くための「利用満足度UP！アンケート週間」を実施した。 ※詳細は、【効果性】に記載 - 実施期間：令和6年3月6日(水)～3月13日(水) - 実施場所：岐阜市民総合体育館、南部スポーツセンター、西部体育館、東部体育館、もえぎの里多目的体育館、岐陽体育館 - 回収枚数：438枚
--	---

【効果性】

■利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制

- ・通常の利用者カードによるアンケート収集に加え、幅広く利用者の要望や意見などを取り入れるために“利用満足度UP！アンケート”週間を実施するとともに、公認スポーツ施設運営士の資格を有する職員が中心となり、総合体育館トレーニングルームの利用者からモニタリングを行うなど、アンケート調査の機会を拡大した。
- ・その結果、利用満足度UPアンケートにおいては、438枚のアンケート回収があり、利用満足度は84.2%となった。※満足度は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合
 大変満足178件、満足191件、普通66件、不満3件、大変不満0件
- ・アンケートで寄せられた要望・意見に対しては、すぐに改善できることや今後の検討課題等に分類し、聞き取り調査も行った。特に、すぐ対応できるものに対しては迅速に対応することで、施設利用者の利便性を図り、利用者サービスの質の確保に努めた。
- 〈アンケートで寄せられ改善した事例〉(一部抜粋)
 - ・新しい筋トレのトレーニング機器も使いたい。
 ⇒体育館間でトレーニング機器の入れ替えを行ない、現在運用しています。今後も要望に併せて配置転換を検討します。
 - ・駐車場が少なく、利用できない時がある。(総体)
 ⇒体育館の窓口やホームページも含めて、公共交通機関でのご利用案内を新たに追加しました。また体育館受付に、最寄りのバス停時刻表の掲示を始めました。

■利用促進、利用者増の方策

- ・トレーニングルームの利用促進とサービス向上を図るため、新たに利用者ニーズの高いレッグカールをもえぎの里多目的体育館に設置し、もえぎの里のロータリーターソーを南部スポーツセンターに移設するなど、上半期において以南地域体育館にあるトレーニング器機の配置転換を行なった。
- ・公認スポーツ施設運営士の資格を有する職員が中心となり、トレーニングルームの個人利用者に対してモニタリング(3/18～3/24)を実施し、利用者及び高齢者の方からトレーニングルームの利用等について意見をいただき、対応可能なものについては改善を図り利用促進に努めた。
- 〈モニタリングで寄せられ改善した事例〉(一部抜粋)
 - ・ウェイトがバラバラなので使いにくい。
 ⇒ウェイトラックに重りの表示を付け、使いやすいように整理しました。
 - ・バーベルのしまりが悪い。
 ⇒ネジ部分の錆取りをすると同時に、新たにサビがつかないステンレス製のバーベルカラーを導入しました。
 - ・トレーニング室が狭いので、混雑しているとストレッチできない。
 ⇒トレーニング機器のレイアウトを変更して、共有スペースを広くしました。
- ・体育館デーにおいては、トレーニング指導士の資格を取得した職員が、初めてトレーニングルームを利用する方や高齢者に対して、運動のコツをレクチャーしたり、分かりやすく機器の取扱指導に当たるなど、新たなトレーニングルーム利用者の発掘に結び付けた。
- ・上記の取組みの結果、トレーニングルームの利用者は、前年度下半期と比較して4,538人増加した。

〈以南地域体育館全体のトレーニング利用人数〉

R5年度 (上半期)23,190人 (下半期)22,729人 (年間)45,919人
 R4年度 (上半期)19,985人 (下半期)18,191人 (年間)38,176人

- ・体育館デーにおいては、地域のスポーツ推進委員会を中心に、スポーツ教室講師、各種団体や中学生・大学生ボランティアスタッフらの協力を得て、前回の要望・意見を取り入れながら新たな企画を織り交ぜ開催することができた。総合体育館では弓道やビームライフル、吹き矢体験を行ない、西部体育館ではフットサル体験を行うなど、各体育館での特色を出しながら、子どもから高齢者まで楽しんでいただける内容で、当日の総来場者数は993人と対前年度68人増加した。また、このような各種体験を充実させることで、次年度スポーツ教室の参加申し込みにもつなげることができた。

- ・総合体育館においては、軽スポーツの貸出業務において、青少年会館と連携をしながら、「子ども会サポートプラン」にも貸出協力をしたり、利用を検討している団体に貸し出す解説書の種目数を増やすなど、様々な行事やサークル活動などに広く活用してもらうよう工夫を凝らしたことで、軽スポーツの貸出件数が増加した。

【効率性】

■管理経費縮減に繋がる方策

- ・トイレトペーパーやコピー用紙、消毒液等の体育館共通で使用する消耗品については、6館一括購入することで、消耗品を安く購入するなど経費縮減を図った。
- ・電気代等の光熱水量費が高騰する中、館内巡回を徹底し、エアコンや館内照明のこまめなオン・オフや利用後の消灯について利用者にもお願いするなど、日常的な節電・節水対策に取り組んだ。
- ・毎年実施している委託業務においても、仕様内容に無駄がないかなど、常に仕様書を精査することで委託料の縮減に努めた。

	【安定性安全性】 ■緊急時の対応 ・防火管理業務に基づき、火災等の予防を再確認するとともに、人命の安全を図るための避難方法及び非常電話の使用方法を再確認するため、職員を対象に自主避難訓練を実施した。 ・体育館の老朽化に伴い、館内の不具合箇所がないか職員による目視巡回を強化している。 ■組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等 ・スポーツ施設の管理運営に必要な専門知識や技能を取得するため、公認スポーツ施設運営士の資格を職員1名が取得(1月)した。 〈公認スポーツ施設運営士とは〉 体育・スポーツ施設の管理運営に必要な知識・技能を習得することによって、指定管理者制度や事業運営等に対応できるマネジメント能力の向上を図る(公益財団法人日本スポーツ施設協会公認) 【貢献性】 ■その他、地域への貢献に関すること ・地域の各種団体へ出前講座を実施した。出展内容については、公認スポーツプログラマーや公認トレーニング指導士、公認初級パラスポーツ指導員の資格を有した職員が担い、運動遊びやスポーツに関する専門知識を生かして出展内容を計画・立案し、ポッチャの種目を取り入れるなど、障がい者スポーツの普及にも取り組んだ。 ・体験してくれた子ども達からは、初めて触れる道具に興味津々で、「最初は難しかったけど、めちゃくちゃ面白かった」等の声をもらい、目を輝かせてチャレンジしてくれた。また子ども以外にも親子で参加する姿も見られ、大勢の方の笑顔溢れる1日となった。また来年も出展できるよう、依頼団体と調整を図った。 〈実施した出前講座〉 ・長良東フェスティバル(11月19日) 依頼団体:長良東自治会連合会、長良東まちづくり協議会 場所:長良東小学校体育館及びグランド 内容:ポッチャ&カラーリング体験のコーナーを出展 ・令和6年1月1日に発生した能登半島地震災害で被災された方々を支援するため、令和6年能登半島地震災害義援金を受け付けている。 ・能登半島地震義援金箱に寄せられた義援金108,060円(令和6年2月1日～3月31日)は、日本赤十字社を通して被災地へ届けた。
前回までの意見を踏まえた取り組み状況	所管課の意見 ・迅速かつ計画的な施設の修繕を行っており、適切に管理運営を実施していることや、利用者アンケート結果を施設運営に反映させるなど、利用者目線での取り組みは評価できる。 ・今後も、施設の適切な管理運営はもとより、利用者の満足度の向上、利用者増に繋がる取り組みを実施し、更なる利用促進を図られたい。 指定管理者評価委員会の意見 ・強化指定選手のパネルが、各体育館などに設置されているのは非常に良い試みであり、貢献性の部分において評価できる。 ・欠員補充のアルバイト代について、どのような経緯と解釈によって会計処理を行ったのか、次回の評価委員会で報告していただきたい。 【利用促進に対する取り組み】 ・柔道場や剣道場などでヨガやダンスの利用など、引き続き、施設の多目的な利用を啓発することで、利用者の拡大・増加に努めた。 ・新たに公認スポーツ施設運営士の資格を取得した職員が、トレーニングルーム利用者からモニタリングを行い、対応可能なものについては改善を図り、利用促進に努めた。 〈モニタリングで寄せられ改善した事例〉(一部抜粋) ・ウェイトがバラバラなので使いにくい。 ⇒ウェイトラックに重りの表示を付け、使いやすいように整理しました。 ・バーベルのしまりが悪い。 ⇒ネジ部分の錆取りをすると同時に、新たにサビがつかないステンレス製のバーベルカラーを導入しました。 ・トレーニング室が狭いので、混雑しているとストレッチできない。 ⇒トレーニング機器のレイアウトを変更して、共有スペースを広くしました。 ・ニュースポーツ等のスポーツ用具貸出業務において、写真入り解説書を充実させた他、青少年会館と連携して「子ども会サポートプラン」に協力するなど、貸出業務の推進に当たった。

	【安心・安全な施設運営を継続する取組み】 ・施設の老朽化が進んでいるため、日常点検や職員による巡回を強化し、利用者の安全確保と事故防止に努めた。 ・管理者点検マニュアルに基づく施設点検の実施など、所管課と不具合箇所の情報共有を図りながら、施設の修繕については、優先順位をつけて適宜実施した。 ・スポーツ施設の管理運営に必要な専門知識や技能を取得するため、公認スポーツ施設運営士の資格を職員1名が取得した。 【欠員補充の会計処理について】 ・欠員補充のアルバイト雇用を行ったのではなく、窓口業務における事務効率化を図ることを目的に、4月～1月の期間において、派遣職員の受入れを行った。なお、派遣職員の受入れについては、公認会計士の指導のもと、公益法人会計基準に則り、手数料科目において適正に執行している。
今後の取り組み	【利用者の安全・安心を保つ施設運営に向けて】 ・トレーニングルームを有する施設において、トレーナーによる指導機会を設けることで、初心者や高齢者に対して安心・安全な利用環境を整える。 ・利用者が安心して、安全・快適に施設を利用していただけるよう、予防保全の観点から計画的な修繕を実施する。そのために、各体育館毎に詳細な施設点検表を作成・取りまとめ、計画的な修繕に活用していく。 ・利用者アンケートの声をしっかりと把握しながら、施設備品の更新も計画的に実施していく。 【SDGsに関する取組みの推進】 ・体育館として第3項目の「すべての人に健康と福祉を」について、あらゆる世代の人がいつでもスポーツに親しむ環境を作り、全職員がその一助となるようスポーツ教室の充実をはじめ、自主事業、出前講座の実施、スポーツ助成事業の啓発、障がい者スポーツの啓発等に取り組んでいく。 【利用者サービスの向上】 ・より多くの利用者からご意見やご要望をいただくため、今後も利用満足度UP！アンケート週間を実施する。また、アンケートでいただいたご意見やご要望については、すぐに対応できるものは迅速に実施し、利用者ニーズに的確に応える等、より良い施設運営を目指していく。 【利用促進・利用者増の方策】 ・「岐阜市スポーツ推進計画2023-2032」に基づき、スポーツに親しむ市民及び新たな施設利用者の獲得に向けて、スポーツ教室の定員や種目の見直しを行う。 ・ホームページの他、X(旧Twitter)やInstagram等といったSNSを活用した広報活動に加え、地域情報誌など、多彩な広報手段を積極的に活用して、利用促進に繋げる。

●所管課の意見

- ・施設の運営管理は適切に実施されているほか、限られた予算内での施設の修繕を実施するなど、施設の維持管理は大変評価できる。
- ・トレーニング利用者をはじめ、施設利用者のニーズを積極的に把握し、施設運営に反映させている点は大変評価できる。
- ・今後も施設を適切に管理運営し、利用者満足度の向上、更なる利用促進を図られたい。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・利用者ニーズの把握をその種目を行う人に聞くだけでなく、幅広く意見を聞いていただきたい。
- ・今後も南北の施設間において交流を持ちながら、新種目の対応や利用者ニーズに応え、更なる地域貢献に期待したい。